



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月14日

上場会社名 株式会社 太平製作所
 コード番号 6342 URL <http://www.taihei-ss.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名

(氏名) 齊藤 武
 (氏名) 桂山 哲夫
 TEL 0568-73-6411
 配当支払開始予定日 2019年12月2日

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,481	112.4	405		409		289	
2019年3月期第2四半期	1,638	51.9	167		161		100	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 277百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 102百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	214.59	
2019年3月期第2四半期	74.66	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	8,606	5,252	61.0	3,864.69
2019年3月期	9,170	5,048	55.0	3,762.33

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 5,252百万円 2019年3月期 5,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		80.00	80.00
2020年3月期		30.00			
2020年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期(予想)の期末配当金につきましては、現時点では未定であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	9.1	680	32.5	710	31.9	490	36.8	362.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	1,500,000 株	2019年3月期	1,500,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	140,942 株	2019年3月期	158,278 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	1,348,078 株	2019年3月期2Q	1,341,919 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善などを背景として引き続き緩やかな回復基調で推移しておりますが、輸出において一部弱さが見られるなど足踏状態となりました。

一方、世界経済におきましては、米国の保護主義政策による貿易摩擦の拡大や、英国のEU離脱問題の長期化に加え、中東情勢の不安定化、日韓外交問題など先行きの不透明さは増しております。

当社を取り巻く事業環境は、住宅市場の先行き不透明感から設備投資に対する慎重姿勢に変わりはありませんが、人手不足による効率化・省人化を急ぐ企業も多く、企業収益の改善により増加した内部留保を活用し、生産性向上を目的とした、工場の増改築や機械の入れ替えを検討される動きも見受けられます。

このような状況のなか、当社グループといたしましては、開発機械の市場投入を急ぐとともに積極的な営業活動を継続しており、合板機械事業において受注が好調に推移したこと、前年においては納期が期末に偏り上期の売上が少なかったことに加え、第1四半期連結会計期間より、進捗部分についての成果の確実性が認められる重要な請負契約が発生したことから、工事進行基準を適用した影響もあり、売上・利益ともに前年同期に比べて大きく増加いたしました。

これらの結果、売上高は3,481百万円(前年同四半期比112.4%増)となりました。利益につきましては、営業利益は405百万円(前年同四半期は167百万円の営業損失)、経常利益は409百万円(前年同四半期は161百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は289百万円(前年同四半期は100百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①合板機械事業

合板機械事業は、開発機械の市場投入を急ぐとともに積極的な営業活動を継続してきたことから、受注が好調に推移いたしました。また、前年においては納期が期末に偏り上期の売上が少なかったことや、工事進行基準を適用した影響から、売上・利益ともに前年同期に比べて大きく増加いたしました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,735百万円(前年同四半期比165.8%増)、営業利益は508百万円(前年同四半期は32百万円の営業利益)となりました。

②木工機械事業

木工機械事業は、顧客ニーズに合わせた機械の開発・改良に注力しておりますが、開発機械の市場投入には至っておらず、受注が伸び悩んでおります。また、国内最大規模の木工機械展示会に出展するなどの販促費用や、研究開発費が増加しました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は271百万円(前年同四半期比37.8%増)、営業損失は87百万円(前年同四半期は121百万円の営業損失)となりました。

③住宅建材事業

住宅建材事業は、ツーバイフォー住宅の着工戸数が、一般住宅においては消費税増税の駆け込み需要の影響か、前期後半より微増しましたが、賃貸住宅向け着工戸数が大幅に減少しており、受注競争が厳しさを増しております。

受注において優位性を保つため、JAS認定工場の強みを生かした営業活動を強化するとともに、工務店向けの工場見学を開催し、品質や信頼性をアピールするなど付加価値を強化する営業活動に注力するとともに、設計見直しによるコスト削減に取り組んでおります。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は474百万円(前年同四半期比3.1%増)、営業利益につきましては、47百万円(前年同四半期は0百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.1%減少し、6,583百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が2,112百万円減少、現金及び預金が560百万円増加、有価証券が1,000百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.8%増加し、2,022百万円となりました。これは主に、無形固定資産が9百万円減少し、投資その他の資産のその他が21百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて6.2%減少し、8,606百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて20.8%減少し、3,008百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が222百万円減少、前受金が527百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.7%増加し、345百万円となりました。これは主に、固定負債のその他が32百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて18.6%減少し、3,354百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.0%増加し、5,252百万円となりました。これは主に、利益剰余金が181百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前期末残高と比べ1,542百万円増加し、4,091百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は1,724百万円(前年同四半期は404百万円の獲得)となりました。これは主に、売上債権の減少による資金の増加が、前受金の減少による資金の減少を上回ったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は54百万円(前年同四半期は29百万円の獲得)となりました。これは主に、定期預金の預入及び有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は127百万円(前年同四半期は89百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払い及びリース債務の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月14日の決算短信で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、連結業績予想につきましては、当社グループが現時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,930,273	2,490,414
受取手形及び売掛金	3,354,504	1,241,569
有価証券	1,000,000	2,000,000
仕掛品	571,907	407,789
原材料及び貯蔵品	288,529	273,016
その他	36,742	178,971
貸倒引当金	△17,814	△7,859
流動資産合計	7,164,142	6,583,902
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	620,582	606,321
土地	689,746	689,746
その他(純額)	149,143	167,516
有形固定資産合計	1,459,472	1,463,584
無形固定資産		
その他	69,962	60,612
無形固定資産合計	69,962	60,612
投資その他の資産		
その他	477,118	498,437
投資その他の資産合計	477,118	498,437
固定資産合計	2,006,553	2,022,635
資産合計	9,170,696	8,606,537
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,495,135	1,272,477
短期借入金	650,000	650,000
未払法人税等	107,800	163,360
賞与引当金	102,276	106,006
完成工事補償引当金	117,000	153,000
前受金	1,067,531	540,375
その他	258,892	123,145
流動負債合計	3,798,634	3,008,364
固定負債		
役員退職慰労引当金	18,736	18,736
退職給付に係る負債	250,075	239,728
その他	55,245	87,365
固定負債合計	324,056	345,829
負債合計	4,122,691	3,354,194

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	77,201	88,842
利益剰余金	4,398,400	4,580,349
自己株式	△207,419	△184,718
株主資本合計	5,018,181	5,234,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,823	17,869
その他の包括利益累計額合計	29,823	17,869
純資産合計	5,048,005	5,252,342
負債純資産合計	9,170,696	8,606,537

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	1,638,617	3,481,145
売上原価	1,404,528	2,623,923
売上総利益	234,089	857,221
販売費及び一般管理費	401,864	451,998
営業利益又は営業損失(△)	△167,775	405,223
営業外収益		
受取利息	82	75
受取配当金	2,557	2,176
鉄屑売却収入	3,268	1,365
保険解約返戻金	217	547
その他	2,068	1,746
営業外収益合計	8,193	5,911
営業外費用		
支払利息	1,695	1,404
その他	103	—
営業外費用合計	1,798	1,404
経常利益又は経常損失(△)	△161,380	409,730
特別利益		
固定資産売却益	—	385
特別利益合計	—	385
特別損失		
投資有価証券売却損	1,285	—
その他	98	—
特別損失合計	1,383	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△162,764	410,115
法人税、住民税及び事業税	350	149,209
法人税等調整額	△62,919	△28,380
法人税等合計	△62,568	120,828
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△100,196	289,286
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△100,196	289,286

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△100,196	289,286
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,731	△11,954
その他の包括利益合計	△2,731	△11,954
四半期包括利益	△102,927	277,332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△102,927	277,332

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△162,764	410,115
減価償却費	58,799	62,306
株式報酬費用	—	8,598
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10,866	△9,955
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,396	3,730
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△32,500	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,501	△10,346
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	945	—
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△47,650	36,000
受取利息及び受取配当金	△2,639	△2,251
支払利息	1,695	1,404
固定資産除売却損益(△は益)	—	△385
投資有価証券売却損益(△は益)	1,285	—
売上債権の増減額(△は増加)	165,463	2,112,935
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,316,441	179,630
仕入債務の増減額(△は減少)	229,437	△222,658
前受金の増減額(△は減少)	1,866,995	△527,155
その他	△169,518	△226,715
小計	618,873	1,815,252
利息及び配当金の受取額	2,639	2,251
利息の支払額	△1,175	△1,767
法人税等の支払額	△215,830	△91,533
営業活動によるキャッシュ・フロー	404,506	1,724,203
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△18,005	△18,003
定期預金の払戻による収入	72,003	—
有形固定資産の取得による支出	△46,057	△36,770
有形固定資産の売却による収入	—	385
投資有価証券の取得による支出	△245	△252
投資有価証券の売却による収入	29,985	—
無形固定資産の取得による支出	△8,100	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	29,580	△54,641
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△2	△49
配当金の支払額	△66,682	△106,129
リース債務の返済による支出	△22,814	△21,071
財務活動によるキャッシュ・フロー	△89,500	△127,251
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	△173
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	344,591	1,542,137
現金及び現金同等物の期首残高	3,272,555	2,549,243
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,617,147	4,091,381

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(工事進行基準の適用)

第1四半期連結会計期間において、進捗部分についての成果の確実性が認められる重要な請負契約が発生したことから、当該請負において第1四半期連結会計期間より工事進行基準（進捗の見積もりは原価比例法）を適用しております。

なお、これにより、売上高が1,742,346千円増加し、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益が486,839千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	1,025,607	152,810	460,199	1,638,617
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,511	44,020	—	47,532
計	1,029,119	196,831	460,199	1,686,149
セグメント利益又は損失(△)	32,407	△121,789	417	△88,963

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△88,963
未実現利益の消去	166
全社費用（注）	△78,977
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△167,775

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	2,735,697	270,881	474,566	3,481,145
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	271	—	271
計	2,735,697	271,152	474,566	3,481,416
セグメント利益又は損失(△)	508,354	△87,039	47,410	468,724

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	468,724
未実現利益の消去	157
全社費用(注)	△63,658
四半期連結損益計算書の営業利益	405,223

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(工事進行基準の適用)

第1四半期連結会計期間において、進捗部分についての成果の確実性が認められる重要な請負契約が発生したことから、当該請負において第1四半期連結会計期間より工事進行基準(進捗の見積もりは原価比例法)を適用しております。

なお、これにより、合板機械事業の売上高が1,742,346千円増加し、セグメント利益が486,839千円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。